



大阪府鉄構建設業協同組合

青年部会 三十周年記念誌



目次

会長あいさつ	大阪府鉄構建設業協同組合青年部会会長 松田 吉展	1
30周年によせて	大阪府鉄構建設業協同組合理事長 佐野 勝也	2
青年部会の歴史～設立から20年目～		3
20年目から30年目へ		6
会員紹介		13
協賛広告		17
事務局から一言／令和2年度 青年部会役員		31
あとがき		32



第15代会長 松田 吉展 謝 意

大阪府鉄構建設業協同組合青年部会は、令和2年をもちまして無事に設立30周年を迎えることが出来ました。親会の皆様や、勉強会や見学会に多大なるご協力を頂きました企業様、青年部の皆様のご理解、ご支援がなければ成しえなかったことだと思います。皆様に厚く御礼申し上げます。

私が青年部会に入会させて頂いたのは、7年前にさかのぼります。弊社が組合に入会しまして7年半ですので、本当に組合というものの右も左も分からないような時期でした。その時、当時の坂本会長に初めてお会いしたときに、『組合には青年部会というものがあり、すごく勉強になり、同世代の仲間もいるから是非入会してみては』とお話を頂き、それなら入会してみようと思い、入会したのが始まりです。

入会させて頂いて印象を受けたのは【同業者・同年代がしっかり勉強し、きっちり懇親を深めている】というところに私は衝撃をうけました。青年部に入会していなければ今でも私は『同業者はみんなライバル』くらいに思っていたでしょう。入会まもなくからたくさんの人に支えられ、色んな事を教えて頂き、青年部会には心から感謝しております。

会長のお話を頂いた時は非常に驚きました

し、『早すぎるやろ?』と思いましたが、お世話になった青年部会に少しでもお役に立てればと思い、お引き受けさせて頂きました。

この30周年記念誌を作成させて頂くのをきっかけに、私は初めて10周年、20周年の記念誌を読ませて頂きました。青年部会の歴史を知ることが出来たと同時に、歴代会長の皆様が、その時代で様々な困難に遭遇し、それを乗り越えてきた事を知りました。この30年で様々な歴史に残る災害、事件が発生してきた中で今の青年部会があるのは歴代会長、会員の皆様の努力の証だと思います。深く感謝を申し上げます。

昨年は世界的に新型コロナウイルスが流行し、世界中の人類の生命が脅かされる年となりました。まさに予想だにできない事態だったと言えるのではないのでしょうか。誰もがどうしたらいいのか分からなかった1年だったと思います。緊急事態宣言の発令により、我々鉄骨業界でも鉄骨製作の延期、中止が相次ぎました。新型コロナウイルスの終息はまだ分からないところではありますが、かつての諸先輩方が様々な困難を乗り越えてきたように、我々青年部会もより一層団結しまして、この困難を乗り切りたいと思います。

このファブ業界には、まだまだたくさんの問題や課題が山積みされていると思います。このファブ業界の魅力を社会に伝えて行くのも我々の役目じゃないかと思えます。汚れてもきつなくても、自分の作った鉄骨が建った時の達成感とやりがい。この魅力はものづくりでしか味わえません。この魅力を、まだ見ぬ青年部の後輩たちに伝えて行くためにも、全力で取り組んでいきたいと考えます。

これからも、後に続く後輩たちが我々の意思を受け継ぎ、青年部会を40周年、50周年と発展させ、存続させてくれるものと信じております。まだまだ勉強不足な私たちですが、全ての皆様へ感謝し、日々精進していきます。どうかこれからも引き続き変わらぬご支援、ご指導、そして温かいご理解を頂けますよう心からお願い申し上げます。



30周年を迎えた青年部会へ

大阪府鉄構建設業協同組合

理事長 佐野 勝也

ひとくちに30年と言っても、いろいろな情勢が変転極まりない世の中で、この業界も例外ではなく、存続をし続けるということはやさしいことではなかったと思います。

でも、継続できたのは各企業の努力や工夫はもとより、歴代青年部の方々の結束力や支え合う姿があったからであり、そんな時こそ情報交換が大事。その点は、親会よりも優れていたと言えるでしょう。

ネットで良い話を見つけましたので一つ紹介します。知っている方もおられると思いますが、それは「地獄と極楽」と題する話です。『ある人が地獄をのぞいてみた。するとそこにはすきつ腹をかかえた人が輪になっている。真ん中においしそうなお肉が煮込まれた鍋が置いてあるのだそうです。』

ところが天国（極楽）と地獄にいる人が持つお箸は皆、とても長く、地獄にいる人はお箸でおいしそうなお肉をつまんでも自分の口まで持っていけないのだそうです。そのためみんなお腹をすかして餓鬼そのものの形相に

なっているのですね。

今度は極楽へ行ってみると、そこでは、みんなはお箸が長いためにつまんだ食べ物を自分の向かいにいる人に食べさせているのだそうです。そのため、みんな満ち足りた優しい表情で暮らしているのだというお話です。』

「人の和」というものを、わかりやすく教えた尊い話だと思った次第です。この話は、まさしく今の青年部の仲の良さ、結束力、支え合う力に似たものがあり、過去より受け継がれてきたこの伝統を今後も受け継いでいただきたいと思います。

親会の現理事のメンバー、すなわち大阪の組合を支えているのは青年部会出身の方が多いのです。これからも、コロナ禍や苦境を乗り越えて、勉強、努力を惜しまず、この業界の後継者として組合を支えて行ってください。青年部会の未来永劫の継続、更なる飛躍を期待しつつお祝いの言葉とします。

青年部会のあゆみ

設立から10年目まで

旧青年部会

現在の青年部は平成元年（1989年）に、4支部から1人ずつ選出された4名が発起人会を結成し、設立準備を開始した。

だが、それ以前の昭和59年度（1984年度）から63年度までの5年間、『親組合の活性化と若手経営者の育成』を目的に青年部が組織されていたのはあまり知られていない。

当時、ファブリケータ業界では経営者がまだ若く、後継者育成が重要課題とされていなかった。しかし、大阪府鉄構建設業協同組合ではいち早く次代を担う若手の必要性を指摘し、昭和58年に汲川圭司理事長（当時）のもとで設立に向けて準備を開始した。翌、昭和59年4月に設立総会を挙行し、初代会長に殿尾晃弘氏が就任した。活動では、片山鉄工所（現・日本ファブテック㈱）や大阪変圧器（現・㈱ダイヘン）などを見学し、他県青年部との交流などを実施した。

しかし、バブル経済の到来とともに活動時間が削られるなど事業が滞ることが増え、5年という短い時間で自然解散することになる。

全国に先駆けて行われた旧青年部会の取り組みは、後継者育成の必要性を全国へ提起した大きな役割を演じたといえる。また、その会長経験者は、後に組合理事長となった炭谷延行氏や副理事長の殿尾晃弘氏（現三智工業㈱会長）、理事で支部長となった副島良廣氏（現㈱ソエジマ社長）らがあり、後に親組合の中心を担った人材を輩出した。

新生青年部会

設立準備から藤尾初代会長時代 （1990～1993）

平成元年、殿尾佳弘理事長の下、大阪府鉄構建設業協同組合第16回総会で青年部設立が決議された。設立の準備として、各支部から1名ずつ、北大阪支部から藤尾修氏、南大阪支部から岡田大二郎氏、東大阪支部から樽井敬太郎氏、大阪市内支部から千田稔氏が集い、発起人としての活動がスタートする。



第1回発起人会（平成元年）

翌年度、設立総会を開催して、発起人の一人だった藤尾修氏が初代会長に就任した。バブルのピークは過ぎたものの、余韻が残っている時代でもあり、仲間の工場の見学やディテールの考案など、活動を展開した。全国においても青年部の全国組織も各地で産声を上げるなかで、先人として牽引役を担った。藤尾会長は、活動が軌道に乗るまではと、乞われ、会長を3年間務めることになった。



第1回ディテール勉強会（平成2～4年度事業）

岡田2代目会長時代 (1993 ~ 1995)

平成5年度からは、発起人の一人であった岡田大二郎氏（現㈱岡三鋼業社長）が2代目会長に就任。会員数も33名に達した。昭和63年度から続いた推定鉄骨需要量1000万トン超えが、この平成5年度を境に突然終止符を打つ。まだ推定鉄骨需要量は800万トンを超えてはいたが、バブル崩壊の足音が日増しに大きくなりつつある時代だった。平成7年、新年を迎え、「今年は景気が回復しますように」と全ての人が念じた矢先、1月17日に阪神淡路大震災が発生した。

田中3代目会長時代 (1995 ~ 1997)

田中弥一郎氏が3代目会長に就任。阪神淡路大震災を機に鉄骨に社会の関心が集まり、ファブ業界は品質の向上を使命とされた時代。技術、経営、交流の3委員会がここで設置された。また、鉄構技術展（㈱鋼構造出版主催）ではブースを設け、テレホンカードの販売を通じて震災被災者に義援金を送るという社会貢献も初めて本格的に実施し、社会貢献という活動も青年部活動の一つのテーマとして確立された。

堀井4代目会長時代 (1997 ~ 1999)

平成9年度には4代目会長に堀井宏氏が就任する。平成7年度から回復基調を示した推定鉄骨需要量の数字が生きていた時代で、2年間続いた右肩上がりの景気回復がファブ業界全体を息づかせていた。現実には9年度

に900万トンと下降はしたものの、前年度の1000万トン台の余韻が残り、景気回復を実感として捉え始め、これを反映して、多くの活動が展開された。工場見学会や技術的な各種勉強会だけでなく、マネジメントゲームの実施など経営に関する勉強会も開催。堺市の堺大漁夜市といった、業界色のない展示会にも参加し、社会全体へファブ業のPR活動も行っている。バブル崩壊後、景気回復を信じた束の間の安息の時代であった。

二見5代目会長時代 (1999 ~ 2001)

5代目会長として二見法和氏が就任した。再び推定鉄骨需要が急速に減少を開始し、景気回復への失望感が広がっていく時代だった。これに伴い、次代を担う若手後継者のパワーが求められたのは当然の成り行きだったといえる。青年部の重要性は今まで以上に増したことを背景に、活動の全員参加を最重点課題として掲げ、これを実践していった。恒例の勉強会や見学会のほかに、設立10周年記念誌の発刊も実現した。二見会長を中心に会員が強く一致団結した時代でもあった。



堺大漁夜市に初参加（平成9～10年度事業）

10年目から20年目へ

新木6代目会長時代

(2001 ~ 2003)

二見会長のもと、経営委員長を務めていた新木洋一氏（現東新鉄建(株)社長）が会長に就任した。「もっと会員同士が気軽に会社間を行き来できる様に」と、会員の企業地図ファイルを配布。また以前から行っていた献血事業を「より多くの会員が参加できる様に」と新木会長の東新鉄建本社工場1階に献血車を呼ぶ取り組みを始め、現在まで続けている（夏冬年2回）。

勉強会では、仕事で役に立つ内容をテーマに挙げ、「くい違い・目違いの補強方法及び防止対策」、「ノーメッキワイヤー説明会」、「トルシア型超高力ボルトについて」など積極的に開催した。

西7代目会長時代

(2003 ~ 2005)

新木6代目会長の推薦で西政宏氏が新会長に就任した。鉄骨需要が落ち込んだ厳しい時代であり、基本方針を『原材料の高騰を請負単価に転嫁出来ねば道は無い』とし、活動で培った技術や情報を共有し、お互いに助け合う『和』の心を持つことを重視した。

技術・経営・交流それぞれの委員会で合計10回以上もの勉強会、見学会等の事業を精力的に実施。経営研究勉強会や関西建築構造設計事務所協会（KSE）との交流、三栄建設や日鐵建材工業のデッキ工場等の見学会を行い、それによって得たノウハウを各会社へ持ち帰り、活用していくのに役立てた。

竹林8代目会長時代

(2005 ~ 2007)

鉄骨需要が低迷する中、竹林和彦氏（現(株)辻本製作所社長）が8代目会長に就任した。青年部会を「観光バス」に例え、「会長が変わると事業も変わり、同じ路線を走らずに別の路線を走る」と考えた。ホームページの開設、ITを活用した経営戦略勉強会、田中亜鉛鍍金の見学などを実施した。

平川9代目会長時代

(2007 ~ 2009)

平川達也氏（現(株)平川鉄工所専務）が就任。竹林会長から打診されたとき、「まだ早いのではないかと迷ったそうだ。だが、周りからの激励や恩返ししようと決断した。事業は、多くの会員に参加してもらえる事業を多方面から考え、CADメーカー主要4社の説明会や外国人労働者の説明会、溶接技術（AW検定）、Hグレード（山根鉄構建設(株)）の工場見学や山大興業・丸一鋼管の工場へ足を運んだりして会員の知識向上につなげた。

内田10代目会長時代

(2009 ~ 2011)

「責任を持って、皆さんのお役に立ち、恩返ししたい」と内田達典氏（現(株)ウチダ社長）が就任した。会員間の情報交換の活発化に力を注ぎ、ホームページを使った材料単価や与信などの情報交換に取り組んだ。このほか、Hグレードファブやアイエスケーを見学。また、経営や製作技術に関して会員が独自で取り組み成功した事例を集め、小冊子「わが社の成功例集」を作成して会員に配布した。

設立 20 年から現在まで

小出 11 代目会長時代 (2011 ~ 2013)



会長就任をあいさつ

インタビュー：会長時代を振り返って

●第 11 代会長 小出裕樹氏
(小出工業(株)取締役部長)

インタビューアー

- 松田吉展氏
(第 15 代会長 / 光平鉄工(株)専務取締役)
- 田上友貴氏
(技術 副委員長 / 山堀建設(株)工場長)

松田「今回、30 周年記念誌を作ることになったのですが、小出さんは 10 周年の記念誌にも登場しています。ずいぶん前の入会ですが、そのきっかけは何だったのでしょうか」

小出「仕事が現場から事務所に変わるタイミングで、同じ北大阪支部の竹林さんからお誘いいただき、第 4 代堀井会長の時に入会させていただきました。当時は今のように新入会員歓迎会がなく、面識のある人が誰もいなかったのが不安と緊張でいっぱいでした。初めて会合に出席していたときにある先輩に『お前、誰や?』と声をかけられてすごくビビってしまったこと

を覚えてます(笑)」

松田「会長就任は順調に?」

小出「就任は東日本大震災が発生した年でした。4月に予



インタビューの光景

定されていた全国鐵構工業会青年部会の全国大

会が中止になり、突然、東京で全国会長会議だけを行うことになり、1人で東京に行くことになりました」

田上「あの年ですか。当時、業界はどんな状況だったんでしょうか」

小出「東日本大震災で人も物も東北に集中してしまい、大阪では仕事が減少していました」

田上「そうした中で青年部会の事業は難しかったのではないですか」

小出「東日本大震災の影響で建設業は人手不足になって、そのため全国鐵構工業会青年部会でファブ間の人材融通が話題になりました。これを大阪でも検討できないかとファブディスカッションを開きました。これが好評だったので、その後はテーマ



集中力講習会で集中力を高める動作を学ぶ体験するを決めずに普段の疑問・悩み等を出して意見交換する事業として実施しました。ある年は、奈良県の青年部もお誘いして、意見を交わしたこともありまし

松田「なんでも相談できる雰囲気があるので、有意義な事業だと思っています」

小出「また、今も続いている献血事業では長年継続していることを赤十字から表彰されました。青年部全体で地道にやり続けてきたことが認められ、少しだけですが業界の PR になったんじゃないかと思ううれしかったですね」

田上「運営で悩むことはなかったですか」

小出「私が会長の時は若手が少なく、将来を考えると新規会員が必要なことは明らかだったので、勧誘を積極的に取り組みましたが、簡単じゃなかったですね。逆に、今は若手が運営の中心に立ち、先輩たちが支えていますね」

松田「これからの青年部会に期待することは」

小出「とにかく活動を続けてほしいです。私だけでなく多くの先輩たちが築いてきた歴史があり、人材育成の一環として親会からも期待されている。会員には、すでに経営者を務めている人もいれば従

業員もいる。そうした立場の違う会員がいろんなことを学べたり、会社に持ち帰って生かせる事業をしたり様々な情報交換ができる場であってほしいと思います」

【主な事業】

平成 23 年度（2011 ～ 2012）

- ・ 集中力講座
- ・ (株)神戸製鋼所の新型ロボット見学会
- ・ 人材に関する座談会
- ・ ボーリング大会／忘年会／献血

平成 24 年度（2012 ～ 2013）

- ・ Hグレードファブ見学（元古鉄工(株)）
- ・ 鉄骨に関する技術講習会（全青会近畿ブロック事業を兼ねる）
- ・ 節電勉強会
- ・ 人材に関する座談会②
- ・ ボーリング大会／忘年会／献血

坂本 12 代目会長時代 （2013 ～ 2015）



会長就任をあいさつ

インタビュー：会長時代を振り返って

●第12代会長 坂本泰雄氏

（坂本建設(株)社長）

インタビューアー

●藤尾正太郎氏

（書記／熱研工業(株)専務取締役）

●小野木伸浩氏

（技術委員長／(株)小野木鉄工社長）

小野木「青年部に入ったきっかけを教えてください」

坂本「23歳の時、山堀建設の山下社長にお誘いいただきました」

小野木「23歳ってすごく若いですね。もう20年ですか」



ファブディスカッション

坂本「そうですね。若かったので、遊びも含めて楽しく参加していました。参加しているうちに気心の知れた仲間ができて、仕事で助けてもらったりすることがあり、そうしてお世話になった人から部会の役を頼れたことが、今に繋がっています。やはり仕事でお世話になった人の頼みは断れません」

小野木「会長就任までにさまざまな役をされています。なぜ役を引き受けられたのですか」

坂本「これから、世間ではSDGs等の社会貢献など、企業の信頼性以外に社会性も見られる機会が増えていきます。どれだけ社会貢献できている会社なのかと評価されるので、青年部の役を引き受けるのは、そうした外に向けたイメージを発信しているという意味で大切なことです。だからこそ、若い人にはこれからどんどん役を引き受けてほしいです」

藤尾「青年部に入っていてよかったことを教えてください」

坂本「お互いに似た境遇の人ばかりで、腹の探り合いが無く、なんでも話し合える仲間ができたことです。仕事が空いた時や重なった時、ヤードに困ったとき、溶接屋がいなくなったときに助けてくれる仲間ができました。後は人前での挨拶とかスピーチが苦手だったのですが、青年部に入会してから、挨拶やスピーチの機会が増え、人前で話すのも慣れてきました。代表になる以上、社員の前で話す事や人前でスピーチをする機会は避けて通れないので、良い訓練になったと思います」

小野木「いろいろな人に出会い、学ぶことが多いと私も思います」

坂本「人脈はありすぎても損をすることはありません。人脈が仕事に役立ったこともあるし、仲間を助ける

こともできました。ほかの業界ではここまでのつながりのある組合はないでしょう。青年部に入会してよかったです」

藤尾「仲間とのつながりは大切ですね」

坂本「大切ですね。ただ遊びと青年部活動、仕事の“メリハリ”を大事にしてほしいです。第一優先は仕事であることを忘れてほしくないです。また、青年部同士の仕事でも甘えてはいけません。馴れ合いにならないようにすることが、仲間のつながりを



竹島鉄工建設(株) (和歌山県) を見学

大切にすることだと思います。“親しき中にも礼儀あり”ですね」

藤尾「4～5年前から景気が上向き、それに伴って会員同士の関係が深まったと感じます。心のゆとりも大事なんだと思います」

坂本「そうですね。我々の業界は景気の波に左右され易いです。これから景気の厳しい時代に入りそうです。今こそ仲間で助けあうことが大切です。」

藤尾「青年部活動をする上で大事だと思う事は何かだと思いますか？」

坂本「役を引き受けた以上は役を最後まで全うすること。仕事で忙しくて参加できない時や青年部活動が出来ない時は副委員長やまわりの青年部会員に依頼する。役を引き受けて役員会や事業に参加する時でも、出欠の返事だけは必ず明確にする。仕事と役の両立は大変ですが、与えられた任務を全うし、約束を守ることは、仕事でも青年部の活動でも同じだと思っています」

藤尾「若い会員に伝えたいことはありますか？」

坂本「青年部に入って人脈を作って欲しいです。後々、その人脈が自分が代表になった時や、会社を任される立場になった時に必ず役立ち、自分の財産になります。これから大阪の青年部は若い会員の人達が増えていきます。青年部活動を通して、絆を深め、仕事の面でもお互い切磋琢磨して

欲しいです。青年部の先輩の多くの方々は佐野理事長を初め、親会で支部長や理事の役をされ御活躍されています。青年部会員が活性化すれば、青年部の卒業生が親会でも役をする様になり、親会も若返り、活性化すると思います。若い人達には本当に頑張ってほしいです。自分はもう少ししたら卒業して、若い方達へのフォロー役に廻りたいです。」

【主な事業】

平成 25 年度 (2013 ~ 2014)

・ファブディスカッション

・オーエム工業(株)の工場見学

平成 26 年度 (2014 ~ 2015)

・第 2 回ファブディスカッション

・岡部(株)の京都工場を見学

・Hグレードファブを見学 (竹島鉄工建設(株))

・銀行との付き合い方② (兵庫県鉄工建設業協同組合の青年部と大阪R会も参加)

新木 13 代目会長時代

(2015 ~ 2017)



会長就任をあいさつ

インタビュー：会長時代を振り返って

●第 13 代会長 新木謙之氏

(株弘益鐵工所社長)

インタビューアー

●大西正剛氏

(書記/株ウエジ専務)

●齊藤英生氏

(経営副委員長/東新鉄建(株)課長)

大西「お時間ありがとうございます。会長時代を振

り返って、就任は何歳ですか」

新木「会長就任は39歳の時。前年にも声をかけていただいたのですが、先代の体調が悪く、一度、辞退させていただきました。推薦を受けるべきだとも思ったのですが、迷った末に多くの方に説明し、状況を理解していただきました」

大西「就任に関して不安だったことはありますか」

新木「就任前はいろいろ考えましたが、覚悟を決めれば不安はありませんでした」

斉藤「会長就任は昔から考えてたのですか」

新木「青年部に入った時は、まだ弘益鐵工所におらず、修行として豊工業で働いていた時でした。豊工業の大川豊廣社長が『青年部でいい経験を積むように』と勧めてくれました。会長就任の話が来た時には、『勧めてくれた大川社長に感謝していい事業活動をしたい』と思いました」

大西「振り返れば新木会長の時は、さまざまな事業をしました。一番印象に残っている事業は何でしょう」

新木「ディスカッションや梁ロボの見学会、いろいろな取り組みを実施しました。LINEを活用し始めたのもこのころです。役員会を月1度開いて、技術・経営の両面で取り組みました。また、事業とは別に『謙‘S BAR』と名付けて役員ひとりひとりとじっくり話す時間をつくりました。それぞれの考え方や思いを聞き、人柄を深く知ることができて、以後の活動に活かすことができました」



熱研工業(株)工場設備見学

斉藤「たくさんの事業をしましたが、心残りはありますか」

新木「鋼構造ジャーナルの表紙を飾りたいと思っていましたができませんでした。次の横内会長の時に表紙を飾り、紙面を見たときは悔しいと思いました」

大西「ジャーナルの表紙を飾れば青年部のことを多くの人に知ってもらえたのに残念でした。そのほか、貴重な経験など予想しないことはありましたか」

新木「青年部の会長は、親会の理事会に出席して活動を報告するのですが、理事役員と話をする機会が思った以上に増えました。何度も話をすることで親密になることができ、組合活動について深く知ることができました」

斉藤「これから青年部の中心を担う人、これから入会する人に一言をお願いします」

新木「私と同じようにいい経験を積んでほしいと願っています」



ファブディスカッション

【主な事業】

平成27年度(2015～2016)

- ・小冊子『わが社の成功例集』を作成
- ・ファブディスカッション
- ・加工道具と溶接技術の勉強会(フルサト工業(株)京都営業所で。京都府鉄構工業協同組合青年部と合同で実施)
- ・マイナンバー勉強会
- ・銀行との付き合い方③(兵庫県鉄工建設業協同組合と京都府鉄構工業協同組合の青年部も参加)
- ・ボーリング大会/忘年会/献血

平成28年度(2016～2017)

- ・インターネットについて勉強会(㈱ローバルが講師)
- ・社会保険未加入の勉強会(大北社会保険労務士事務所の大北佳代さんが講師)
- ・ファブ見学会(熱研工業(株)の工場見学と梁ロボの講習会)
- ・水性塗料勉強会(ダイニツカ(株)大阪工場)
- ・JFEスチール知多製造所を見学
- ・ボーリング大会/忘年会/献血

横内 14 代目会長時代 (2017 ~ 2020)



会長就任をあいさつ

インタビュー：会長時代を振り返って

●第14代会長 横内 聡氏

(株)横内鐵構社長)

インタビューアー

●尾崎正太氏

(経営委員長／(株)尾崎製作所社長)

●吉田 恒氏

(会計／(株)中野鉄工設計部)

尾崎「入会のきっかけから教えてください」

横内「新木洋一会長の時、(株)大正鉄工所の大谷社長に誘っていただきました。ただ、その時は2～3度参加しただけで行かなくなってしまいました。それは当時、社会的・会社的に仕事が少ない厳しい時代で、青年部への意欲が無くなってしまいました。その後、内田達典会長の時に会合で出会った坂本泰雄さんが、父に私を青年部に入れるよう再び誘ってくれたことで積極的に参加するようになりました」

尾崎「会長就任はどんなきっかけですか」

横内「それまで委員長の経験がなかったので迷いましたが、新木謙之会長が後押しをしてくれて、引き受けさせていただきました。就任の時、感じたのは若手世代へバトンを渡す必要があると思いました」

吉田「若手世代へのバトンですか？」

横内「今、青年部は40代が中心で、数年後には若手にバトンをつなぐことが必要になります。その次の世代が青年部の中心になるためには、時間が

必要だと思いました。それまでの間、と思って3年間、勤めさせていただきました」

吉田「青年部同士のつながりを大事にしていますよね」

横内「同じ業界の仲間と出会い、刺激し合うことが大切です。その場を後につなぐことを意識していました」

尾崎「青年部に入ってよかったことは」

横内「自分の仕事を再発見することができました」

尾崎「仕事を再発見とは、どういうことですか」

横内「おおげさかもしれませんが、誇りをもってやらなければならないと思いました。青年部の活動を通して業界のさまざまな人に出会いました。親の跡を継いだ方、若くして父親を亡くして会社の全責任を負っている方、テレビ業界など異業種から入ってきた方、いろんな人と出会うことで、この仕事を見つめなおし、この仕事を大事にしていかなければと思いました。この仕事でがんばろうと」

尾崎「いい刺激になったんですね」

横内「刺激がたくさんありました。事業に参加するときに『なにかを自分のものにしたい』とっていると得られるものはたくさんあります。運営側としての視点になりますが、そうした得ることの多い事業をしていかなければなりません。お酒を一緒に飲んで楽しかった、でもいいんだけど、その先に得るものがあることが大切。何かを得たいという気持ちがあればお酒の席でも得るものはあるはずですよ」



自衛隊講演会

尾崎「そうですね。実は今日のインタビューでも、工場を見せていただきたいと思ってきました」

横内「ぜひ見てください。仕事を見直すきっかけになるかもしれません。興味持つことは大事ですし、同業他社を大事にしてほしいと思います」



ロケットをつくる中小企業 アオキを見学

尾崎「これからの会員に伝えたいことは何ですか」
横内「10年15年はあつという間です。時間をつくることは簡単ではないと思いますが、30代40代になったときに会社のリーダーになるために、その時に備えているいろんなことを学んでほしいと思います。自分の仕事に誇りをもてるように、15年後を想像して努力してほしいと思います」

吉田「今後、青年部に期待したいことを教えてください」

横内「会員が意欲をもって参加できる事業を企画してほしいと思います。また、新しく入会しやすいように、今の会員は周囲に若手がいたら忘年会だけでも誘ってほしい。今後、青年部は40代が運営から遠のく時を迎えます。その時、青年部の中心になる人を育てなければなりません。しかし、コロナ禍で活動が抑制されています。会員の勉強・育成が非常に難しい時代になりました。企画運営に携わる方々はご苦労されていると思いますが、できること



ダイヘンを見学

を見つけてくれると期待しています。

【主な事業】

平成29年度（2017～2018）

- ・TONE(株)見学会
- ・(株)ダイヘン見学会
- ・ファブディスカッション（奈良県鉄構建設業協同組合青年部が参加）

- ・助成金活用について勉強会
 - ・ボーリング大会／忘年会／献血
- 平成30年度（2018～2019）
- ・異業種勉強会（東大阪の(株)アオキを見学）
 - ・外国人実習生の勉強会
- 令和元年度（2019～2020）
- ・溶接機勉強会（熱研工業(株)でダイヘンの溶接機を見学）

松田 15代目会長時代

（2020～）



インタビュー：会長を務める心構えとは

- 第15代会長 松田吉展氏

（光平鉄工株式会社専務）

インタビューアー

- 横内聡氏

（顧問／(株)横内鐵構社長）

- 吉川智寛氏

（副会長／(株)吉川工業社長）

横内「青年部入会のきっかけから教えていただけますか」

松田「北支部会に参加した際、坂本さんに声をかけていただき、入会を決めました」

横内「土木がメインということですが、売上の割合は」

松田「7～8割です」

横内「多いですね。鉄骨の割合が小さく、土木がメインの会社が青年部の会長を務めているというのはすごく珍しいですし、会全体に刺激をもたらしてく

松田「もしかしたら初めてかもしれません。私自身、入会をきっかけに建築鉄骨の加工を知るようになりました。そして、非常に高度な製作作業だとおどろきました」

吉川「青年部に入ってどうでしたか」

松田「講習会に参加して新しいことを知ったり、今更と言われるようなことも聞きやすい雰囲気があるので勉強になりました。だから、会長就任の話を頂いた時には、お世話になったことを少しでもお返しできるかなと考えました」

吉川「会長として1年が終わりましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で主だった活動ができませんでした」



インタビューの光景

松田「コロナ禍で何もできずに悔しいです。もっともっと、若手に青年部へ興味をもってもらいたいし、興味を持たれる活動をしていきたいと思います」

横内「ほかの業種なら学んでいるはずのことを学ぶ機会が少ないのが、この業界の特徴でもあります。そこを補うような活動が青年部の役割なんだと思います」

松田「必要なことを学ぶことができ、分からないことを聞くことができること、同世代と出会えることが青年部のいいところだと思います。これは他の業界にない素晴らしい活動です」



インタビューの光景

吉川「これから青年部にどうなってほしいですか」

松田「お互いを高め合い切磋琢磨できる関係を作ってほしいです。親会にない素晴らしさが青年部にあります。そうしたこれまでの会長たちが築いてきたものを守りながら、現会長として新しいものも作っていきたいです」

【主な事業】

令和2年度（2000～2021）

- ・ネット会議の導入
- ・税理士による勉強会（杉本会計事務所）
- ・工場見学（上柿鉄工建設㈱）



税理士による勉強会（左下・杉本税理士）

全国鉄構工業会青年部会の活動の一環で、ファブリータ業界のPR動画を作成。youtubeで公開され、下記のQRコードにアクセスすることで誰でも見ることができる。



youtubeには右のQRコードでアクセスすることができる。



奈良県の上柿鉄工建設㈱を工場見学

（インタビュー中、青年部会の呼称は慣れ親しんだ「青年部」とさせていただいております。製作）

青年部会員紹介



いの はら さと し
猪原 賢 司

1989年1月21日生

猪原鉄工(株)
係長

〒583-0866 羽曳野市埴生野1095

TEL 072-955-3939 FAX 072-955-1011



おお にし せい ごう
大西 正 剛

1980年6月9日生

(株)ウエジ
専務取締役

〒579-8004 東大阪市布市町3丁目1-56

TEL 072-984-1668 FAX 072-984-5665



うち だ たつ のり
内田 達 典

1971年4月16日生

(株)ウチダ
代表取締役

〒587-0061 堺市美原区今井210

TEL 072-362-1388 FAX 072-362-1793



おお てら たかし
大寺 隆

1991年3月22日生

大宮工業(株)
業務部課長

〒584-0023 富田林市若松町東2-5-35

TEL 0721-25-0503 FAX 0721-25-0561



お ぎき しょう た
尾崎 正 太

1990年1月30日生

(株)尾崎製作所
代表取締役

〒590-0984 堺市堺区神辺町1-10-2

TEL 072-233-0736 FAX 072-233-0736



お の ぎ のぶ ひろ
小野木 伸 浩

1972年11月1日生

(株)小野木鉄工
代表取締役

〒610-0324 京田辺市打田埜田野48-1

TEL 0774-68-0111 FAX 0774-68-0112



くに かね ひさ お
國 金 寿 男

1963年12月5日生

金一産業(株)
代表取締役

〒546-0024 大阪市東住吉区公園南矢田4丁目7-15

TEL 06-6691-6045 FAX 06-6691-6065



やま さき あつ し
山崎 睦 嗣

1978年9月13日生

(株)カネケン
専務取締役

〒593-8312 堺市西区草部496番地1

TEL 072-274-2301 FAX 072-274-2305



き むら みつ し
木村 充 志

1975年3月5日生

(株)木村製作所
専務取締役

〒538-0042 大阪市鶴見区今津中3-4-13

TEL 090-5069-9215 FAX 06-6968-0431



なか の いち ろう
中野 一 郎

1974年2月15日生

元古鉄工(株)
鉄工事業部長

〒571-0038 門真市柳田町30番28号

TEL 06-6909-8792 FAX 06-6908-3936



こ いで ゆう き
小 出 裕 樹

1970年5月7日生

小出工業(株)
部長

〒566-0062 摂津市烏飼上3-3-47

TEL 072-654-4766 FAX 072-654-9945



しん き けん じ
新 木 謙 之

1975年12月27日生

(株)弘益鐵工所
代表取締役

〒578-0921 東大阪市水走4-3-7

TEL 072-964-2552 FAX 072-964-9750



にし の やす のり
西 野 泰 功

1983年3月22日生

(株)厚和鐵工所
代表取締役

〒583-0852 羽曳野市古市1576-8

TEL 072-956-3293 FAX 072-956-3272



さか もと やす お
坂 本 泰 雄

1977年7月28日生

坂本建設(有)
代表取締役

〒576-0054 交野市幾野6-32-2

TEL 072-891-7455 FAX 072-891-9798



うえ お か い と
上 尾 嘉 以 徒

1994年1月26日生

三起鐵工(株)

〒580-0045 松原市三宅西4-569-4

TEL 072-331-3988 FAX 072-331-6680



さ さ き ひろ かず
佐 々 木 弘 和

1967年5月26日生

三和工業(株)
代表取締役

〒566-0052 摂津市烏飼本町5-1-43

TEL 072-653-4415 FAX 072-653-4801



おお たに まさ し
大 谷 正 詩

1972年12月21日生

(株)大正鐵工所
代表取締役

〒547-0014 大阪市平野区長吉川辺4丁目1-60

TEL 072-337-1221 FAX 072-334-4570



わき むら あき ふみ
脇 村 彰 文

1965年3月25日生

大進工業(株)
代表取締役社長

〒583-0866 羽曳野市埴生野1156番地

TEL 072-954-0117 FAX 072-954-5095



たか や しず あき
高 谷 静 明

1963年5月1日生

(株)高谷鐵工所
代表取締役

〒569-1121 高槻市真上町3-12-8

TEL 072-685-1561 FAX 072-685-5345



いし かわ つよし
石 川 剛

1989年11月13日生

(株)タニシン
工務課長

〒573-0114 枚方市穂谷4577-7

TEL 072-859-4123 FAX 072-859-8364



さいとう ひでお
齋藤英生

1977年9月15日生

東新鉄建(株)
技術・検査課長

〒574-0013 大東市中垣内5-2-8

TEL 072-871-8431 FAX 072-871-8433



さいとう たくや
齋藤拓也

1975年3月8日生

(有)中企画
取締役

〒614-8181 八幡市上津屋浜垣内100-1

TEL 075-983-7365 FAX 075-983-7365



よしだ ひさし
吉田恒

1968年12月11日生

(株)中野鉄工
設計部

〒582-0023 柏原市国分東条町10-21

TEL 072-977-0977 FAX 072-977-9213



こばやし ひでき
小林秀樹

1956年5月3日生

日本コンベヤ(株)
顧問

〒679-2166 兵庫県姫路市香寺町中村745-1

TEL 079-232-6747 FAX 079-232-5161



ふじお しょうたろう
藤尾正太郎

1972年1月2日生

熱研工業(株)
専務取締役

〒573-0131 枚方市春日野2丁目1番1号

TEL 072-858-8448 FAX 072-858-5450



ひがし じま やすゆき
東島康幸

1972年10月1日生

(有)東島鉄工
専務取締役

〒630-0101 生駒市高山町9089

TEL 0743-78-7557 FAX 0743-78-7667



ひらかわ たつや
平川達也

1971年9月18日生

(株)平川鉄工所
専務取締役

〒581-0822 八尾市高砂町3丁目66-8

TEL 072-922-1353 FAX 072-999-4370



なべ しま ひろき
鍋島弘樹

1976年6月30日生

北陸工業(株)
専務取締役

〒576-0017 交野市星田北4丁目7番9号

TEL 072-891-2523 FAX 072-891-2647



まつ い はじめ
松井一

1983年11月8日生

(株)松井組工業
工務課 課長

〒610-0343 京田辺市大住池嶋25-3

TEL 0774-63-3901 FAX 0774-63-5674



まつ えだ けんじ
松枝建次

1962年6月7日生

松枝興業(株)
代表取締役

〒551-0021 大阪市大正区南恩加島5-8-12

TEL 06-6554-2325 FAX 06-6554-2627



まつ だ よし のぶ
松 田 吉 展

1979年3月25日生

光平鉄工(株)
専務取締役

〒567-0058 茨木市西豊川町18-2

TEL 072-641-8460 FAX 072-641-8366



いち はら れい
櫛 原 怜

1995年9月28日生

(株)ヤマグチ鉄建

〒621-0013 亀岡市大井町並河2丁目13-20

TEL 0771-56-8445 FAX 0771-56-8446



やぶ の ゆう ま
藪 野 裕 磨

1992年12月20日生

(株)藪野興業
工事主任

〒555-0041 大阪市西淀川区中島1丁目19番49号

TEL 06-6475-3667 FAX 06-6475-3668



やま むら ひろ き
山 村 弘 毅

1971年10月20日生

山文産業(株)
代表取締役

〒572-0819 寝屋川市大成町7-14

TEL 072-823-1651 FAX 072-823-1653



たの うえ ゆう き
田 上 友 貴

1988年2月6日生

山堀建設(株)
工場長

〒567-0836 茨木市目垣2-25-23

TEL 072-636-1637 FAX 072-636-1624



まつ した まこと
松 下 誠

1986年6月30日生

豊工業(株)
工事部次長

〒583-0857 羽曳野市誉田1692-3

TEL 072-956-9543 FAX 072-956-9794



よこ うち さとし
横 内 聡

1969年12月25日生

(株)横内鐵構
代表取締役

〒547-0014 大阪市平野区长吉川辺4-2-1

TEL 072-335-5275 FAX 072-335-2681



よし かわ とも ひろ
吉 川 智 寛

1979年10月3日生

(株)吉川工業
代表取締役

〒571-0017 門真市四宮5-1-34

TEL 072-803-7861 FAX 072-803-7862



あか まつ せい じ
赤 松 整 芝

1988年5月14日生

吉田鋼業(株)
営業部係長

〒579-8013 東大阪市中石切町5-1-22

TEL 072-986-9886 FAX 072-984-9394



よね だ やす なり
米 田 泰 成

1976年4月12日生

(株)米田鉄建
取締役工場長

〒581-0813 八尾市泉町2-71

TEL 072-999-6945 FAX 072-922-9394

30周年記念誌作成にあたり、ご支援のご協力を
くださった皆様に心より御礼申し上げます



鋼材の総合加工センター

HANWAグループ

ダイコー小和野株式会社

薄・中・厚鋼板のシャーリング・レーザー加工
プレス曲・ロール曲・穴開加工
ショットプライマー加工・開先・溶接加工
3Dレーザー加工・形鋼曲げ加工

〒559-0031 大阪市住之江区南港東8丁目1番41号(大阪シャーリング工場団地)

TEL (06) 6612-5781 (代表) FAX (06) 6612-3882

<http://www.daikohsteel.co.jp>

富屋重機

建築工事業 大阪府知事許可
(般27)第134742号

各種クレーンリース業
鉄骨、木造建方一式
重量物据付、運搬一式
ゴンドラ作業、生コン打

〒577-0803 東大阪市下小坂4丁目7-14

TEL 06-6729-3405

FAX 06-6729-3401

携帯電話 080-9474-0989

“鉄のスーパーマーケット”

鋼材加工なら栄鋼機工



最先端技術でお客様のどんなニーズにも対応
一次加工から完成品までご提案いたします



栄鋼機工株式会社
EIKO KIKOU INC.

〒556-0064 大阪府摂津市鳥飼中3-4-36 TEL.072-653-0212

栄鋼機工

検索

鋼構造に関する情報を満載！

鋼構造・プロジェクト・エンジニアリング・設計・建材の専門紙

週刊 鋼構造ジャーナル

鉄構スペシャリストのための総合技術情報誌

月刊 鉄構技術



株式会社 鋼構造出版

URL : <http://www.kokozo.jp>

本社：東京都中央区日本橋茅場町2-2-2 三恵ビル
大阪支社：大阪市西区西本町1-14-3 本町コスモビル
札幌支局：北海道札幌市白石区北郷4条3丁目2-21

Tel 03-5642-7011 Fax 03-5642-7077
Tel 06-6536-2601 Fax 06-6536-7603
Tel 011-879-7666 Fax 011-873-3636

～ 青年部三十周年記念 おめでとうございます ～

ベースピッコ Fabluxe DS Fabluxe GB フリードーナツ

旭化成建材株式会社 代理店



光和テック株式会社

〒591-8031 大阪府堺市北区百舌鳥梅北町5丁252

TEL.072-255-3751 FAX.072-255-3351

KONDOTEC

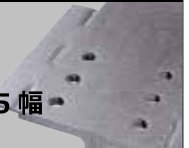
JIS 認定「耐震ブレース」



2ピース構造「コンドー胴縁ボルト」



1/3 溶接長 PAT
「コンデッキバー」50幅・65幅



フラット仕上げ
「バックプレート」



登録意匠済

実用新案出願中

ストッパー付「コラム裏当金」



コンドーテック株式会社

<https://www.kondotec.co.jp>

大阪本社

大阪市西区境川2丁目2番90号

TEL: 06-6582-9581

TEL: 06-6582-9578

東京本社

東京都江東区南砂1丁目9番3号

TEL: 03-5634-2241

FAX: 03-6779-4432

ISベース

露出型弾性固定柱脚工法

(一財)日本建築センター評定国土交通大臣認定



アイエスケー株式会社

■大阪本社

〒550-0001

大阪市西区土佐堀1丁目4番11号

金鳥土佐堀ビル2階

TEL 06-6449-0881

FAX 06-6449-0877

■東京支店

〒105-0004

東京都港区新橋2丁目13番6号

新橋862ビル3階

TEL 03-5251-5545

FAX 03-5251-5226

■URL <http://www.isbase.jp/>

■E-mail info@isbase.jp



2020年秋 新評定品発売

ISベース 販売・施工代理店

Y 株式会社 ワイケー

代表取締役 金子 悦康

大阪本店 関西エリア総代理店

〒565-0806 大阪府吹田市榎切山11-12レジデンス大田 | 101号

TEL 06-6877-2155 FAX 06-6877-2165

未来を切拓く ゆめ咲きエネルギー

高圧ガス・医療用ガス・食品用ガス・溶接機材・電動工具・産業機械・NC機械・空調冷凍機械・OA機械



大和熔材株式会社

本社	〒544-0015 大阪市生野区巽南3丁目2番10号 電話 (06)6754-3100	富田林営業所	〒584-0023 富田林市若松町東3丁目2番24号 電話 (0721)26-1081
大阪営業所	〒544-0015 大阪市生野区巽南3丁目2番9号 電話 (06)6754-0001	岡山営業所	〒704-8122 岡山市東区西大寺新地170-7 電話 (086)943-6622
堺営業所	〒593-8312 堺市西区草部730番地7 電話 (072)273-3361	富田林工場	〒584-0023 富田林市若松町東3丁目2番24号 電話 (0721)24-3381
大東営業所	〒574-0053 大東市新田旭町6番12号 電話 (072)873-6321	岡山工場	〒704-8122 岡山市東区西大寺新地170-7 電話 (086)942-0005

鉄鋼業界の明日へ羽ばたく



光洋商事株式会社

ISO14001認証取得

○大阪本社	〒550-0015 大阪市西区南堀江1丁目18番15号	TEL(06)6538-7201(代表)
○東京本社	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-6-7(光洋ビル5階)	TEL(03)3279-2711(代表)
○群馬支店	〒370-0535 群馬県邑楽郡大泉町大字寄木戸1469番地	TEL(0276)63-5611(代表)
○名古屋営業所	〒460-0008 名古屋市中区栄4丁目3番26号	TEL(052)269-9211(代表)
○大島事務所	〒857-2427 長崎県西海市大島町1608	TEL(0959)34-4522(代表)

浦安加工センター ・ 門真加工センター

<http://www.koyo-shouji.co.jp>

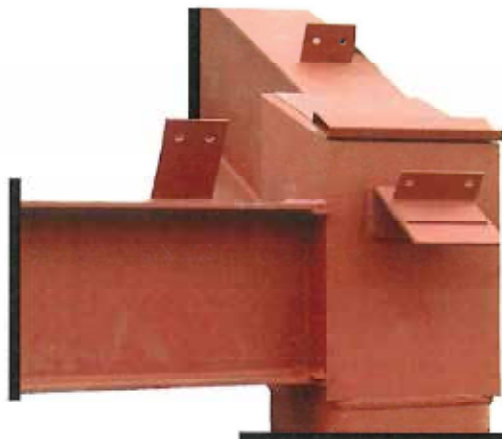
地域限定発売(近畿・関東)

ファブラックス GB

柱はり接合工法 **Fabluxe GB**

- ・弊社従来品より適用範囲拡大
- ・すっきりとした外壁との納まり
- ・工期、納期の短縮
- ・日本建築センター評定取得

旭化成建材株式会社 大阪 06-7636-3847



株式会社 www.mkinfo.co.jp
水澤機械商事

〒443-0038 愛知県蒲郡市拾石町前浜 58-6

TEL : 0533-68-1125
FAX : 0533-67-1223

レンタル and サービス Rental and Service

鉄骨加工業者様及び鋼材商社様を中心に中古溶接ロボット等のレンタル事業を展開しています。使用した時間に対して課金するシステムですので、無駄な固定費がかかりません。

据付、調整、操作教育はもとより、アフターサービスも一手に引受け致します。

取扱商品

溶接ロボット	柱大組ロボット、コアロボット、仕口ロボットetc.
ショットブラスト	H鋼ショット、板ショットetc.



ものづくりの課題を解決する世界最高峰の溶接機&ロボット

厚板溶接新機軸

高能率アーク溶接システム

D-Arc

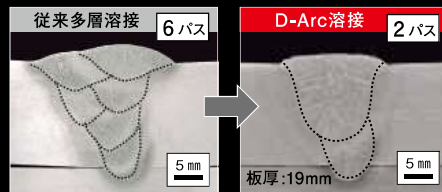
ディー・アーク



D-Arc溶接システム
のご紹介



半自動でもD-Arcモード!
溶接コスト最大65%削減



溶接機事業部 / FAロボット事業部
<https://www.daihen.co.jp/>

株式会社 **ダイヘン** / テクノサポート TEL (078) 275-2030
FAX (078) 845-8201

塗料と塗装機及び塗装用具のコンサルタント

各塗料メーカー・J I S - K さび止め塗料
各種刷毛・ローラー・エアレス塗装機



高田塗料株式会社

本社・門真営業所 〒 571-0034 大阪府門真市東田町 10 - 11
TEL 06-6908-2570 FAX 06-6908-6736
松原営業所 〒 580-0005 大阪府松原市別所 2-3-10
TEL 072-331-4080 FAX 072-331-4083
京都営業所 〒 613-0023 京都府久世郡久御山町野村東 74-3
TEL 075-631-7776 FAX 075-631-7780

よろこびが広がる世界へ

KIRIN



あまみと
香りが新しい。
20年の集大成。
生茶

キリンビバレッジ株式会社 NAMACHA.jp まる搾り生茶葉抽出物 加熱処理

のんだあとはリサイクル。



一般貨物・クレーン作業

株式会社あづま運送

〒 547-0001

大阪市平野区加美北 6 丁目 4-2

電話 (06) 6794-3333

FAX (06) 6792-2885

E-mail: aduma@aqua.ocn.ne.jp



未来を変えていく、健康増進型保険。



住友生命保険相互会社 茨木支社 〒567-0829 茨木市双葉町2-25 現代茨木ビル3F TEL:072-633-1442



大阪府知事許可（般一）第152469号
鋼構造物工事業

輝熔工株式会社

代表取締役 **前泊 千久**

〒574-0064 大阪府大東市御領1-1-1
TEL 072-812-3632
FAX 072-812-3633
携帯 090-5897-5940



2020年の水銀灯規制への対応はお済みですか
鉄鋼業界全国で300社、10000灯の納入実績

工場・倉庫専門の照明メーカー



株式会社 THL

〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂原田107-201
TEL: 022-355-9180 FAX: 022-355-9181
URL: <http://t-ecol.com/>





未来をフルサポート
フルサト工業



最新情報は
公式サイトで発信中
plazaosaka.com



- 19F 鉄板焼 逢坂
- 3F 和食 花伝
- 1F 中国料理 大湖苑
- 1F ブッフェダイニング クリスタル
- 1F カフェ&バー コルディアル
- 1F ギフト・お土産 プラザショップ

HOTEL
P プラザ オーサカ

客室数
653室



〒532-0025 大阪市淀川区新北野1丁目9番15号

TEL 06-6303-1038

宴会予約サロン

鉄骨建築C A D施工図原寸一式

岡本 図 研

岡本 泰 宏

〒573-0112 大阪府枚方市尊延寺 6-31-6 ダイヤロジユマン氷室 305 号室

TEL (072) 897-3090 FAX (072) 897-3091

E - mail: yasuhiro423@abelia.ocn.ne.jp

協栄運輸作業株式会社

〒651-2113 神戸市西区伊川谷町有瀬 759-1-4

TEL (078) 976-7777 FAX (078) 976-7778

兵庫県クレーン事業協同組合・神戸市クレーンリース業協力会加盟

<p>東京証券取引所第二部上場  大丸エナウイ 株式会社 阪神営業所</p> <p> </p> <p>お問い合わせ : ☎ (06)6867-1538 http://www.gas-daimaru.co.jp/</p>	<p>東京証券取引所第一部上場 グループ企業 イーレックス・スパーク・マーケティング株式会社</p> <p></p> <p>http://www.erex.co.jp/</p>
<p>お問い合わせ : ☎ (06)6867-1538</p> <p> </p> <p>東京証券取引所第二部上場 大丸エナウイ 株式会社 阪神営業所</p> <p>http://www.gas-daimaru.co.jp/</p>	<p>東京証券取引所第一部上場 グループ企業 イーレックス・スパーク・マーケティング株式会社</p> <p></p> <p>http://www.erex.co.jp/</p>
<p> </p> <p>東京証券取引所第二部上場 大丸エナウイ 株式会社 阪神営業所</p> <p>http://www.gas-daimaru.co.jp/ お問い合わせ : ☎ (06)6867-1538</p>	<p>東京証券取引所第一部上場 グループ企業 イーレックス・スパーク・マーケティング株式会社</p> <p></p> <p>http://www.erex.co.jp/</p>

溶断・シャーリング・大型レーザー
 孔明・ショット・開先加工

イシキリスチール株式会社

〒579-8013 東大阪市西石切町6丁目2番37号
 T E L .072-987-2041 (代) F A X .072-988-3707

鉄骨業界のサポーター

胴縁加工他付帯鉄骨及び二次部材加工
その他鋳螺含む鉄工二次製品の販売



株式会社ファブサポート・エムケー

〒557-0045 大阪市西成区玉出西1丁目16-20

TEL:06-6656-1240 FAX:06-6656-1245

E-mail: ecozack@fsmk.co.jp

工場 大阪市西成区北津守4-13-41

祝!! 大阪府鉄構建設業協同組合 青年部 設立30周年

ローバル工法 施工管理者認定

溶融亜鉛めっきの最高グレード「HDZ55」
と同等のさび止め効果を塗装で実現

有資格者が施工した物件に対し、
メーカー連名で**最長10年の塗膜保証**



詳しくは当工法ホームページにて
<http://roval.co.jp/ram>

SINCE 1955
ROVAL


ローバル株式会社 技術サービス部
大阪府交野市幾野6丁目41番1号
TEL 072-892-7791 FAX 072-892-6391





培った技術と品質
積み重ねた実績

溶融亜鉛めっき
O M Z P

 オ一エム工業株式会社

本社 〒559-0011
大阪市住之江区北加賀屋3-3-44
TEL (06)6855-0661



**KOBELCO
WELDING**
アプリ

KOBELCO -Your Best Partner

溶接ソリューションを、
もっと身近に。



コツコツと積み上げることが
上達への近道です



鉄骨溶接システムメニュー登場

KOBELCO アプリ

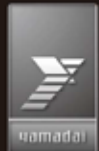
検索



株式会社神戸製鋼所
溶接事業部門

<https://www.kobelco.co.jp/welding/>

マーケティングセンター 国内営業部 西日本営業室
〒541-8536 大阪府大阪市中央区備後町 4-1-3 御堂筋三井ビル 2 階
溶接材料 TEL : 06-6206-6390 / FAX : 06-6206-6458
溶接システム TEL : 06-6206-6423 / FAX : 06-6206-6458



いわば「鉄の拠点」

1本1枚からの販売

山大興業株式会社

品数豊富に
取り揃えております。

本 社 〒592-8331 大阪府堺市西区築港新町 1 丁 5 番地 9
Tel. 072-243-0698

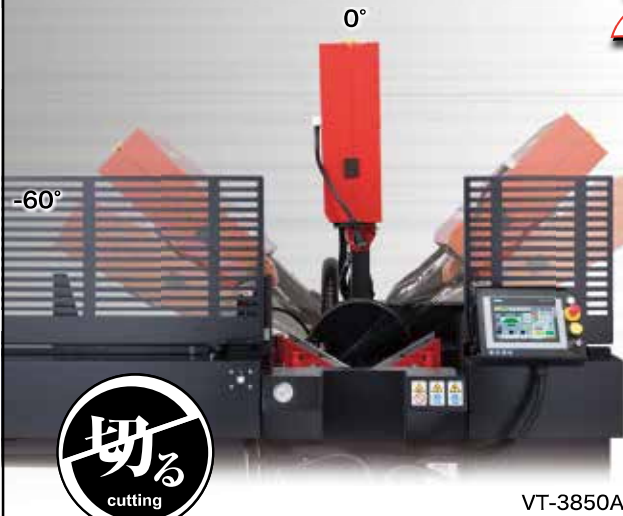
姫路営業所 〒670-0802 兵庫県姫路市砥堀 346 番地の 1
Tel. 079-265-5550

奈良営業所 〒632-0098 奈良県天理市南六条町 165 番地
Tel. 0743-64-1001

AMADA

両振り角度切断で

2つの大きな改善!



VT-3850A

堅型チルトバンドソーマシン

詳しくはコチラ

VT SERIES

新商品



■主な特長「角度切断の省力化」

1. 大幅な工程改善 2. 作業者負担の軽減

従来の横型バンドソーでは、手間のかかる切断を容易化し、多様な角度切断も連続自動切断が可能※（※VT-3850A）

一般社団法人 全国鐵構工業協会 推奨品

形鋼専用ブレード

PROTECTOR

- 過剰な切り込みを抑制し、連続歯欠けを防止
- 歯先の強度アップにより、驚異的な高切断率が可能
- ならし切断不要

祝 青年部 30 周年



Growing Together with Our Customers

株式会社アマダマシナリー

www.amc.amada.co.jp

GOOD GOODWELD

私たちは台湾の優れた製品とまごころをお届けします。

台湾の溶接材料メーカー

TRUST / HARMONY / INNOVATION / QUALITY

- MAG溶接用ソリッドワイヤ
- フラックス入りワイヤ
- ステンレスTIG/MIG/FCW
- サブマージ溶接用ワイヤ
- 各種被覆アーク溶接棒
- その他溶接材料全般



METEX

株式会社メテックス

(GOODWELD製品取扱日本総代理店)

〒577-0045

大阪府東大阪市西堤本通東1-1-1 大発ビル1023号

☎ 06-6789-5205

E-mail: info@metex-osaka.co.jp

FAX 06-6789-5208

URL: http://metex-osaka.co.jp/

Blog: http://ky5210.blog.jp/



初めまして。

日之出鋼材(株)

です。

溶融亜鉛めっき工程管理用タグ

ガルバタグ

溶融亜鉛めっき工程の全工程への耐性を持ち
製品の個体識別を容易にする画期的なタグ

SHIMABUN



- ・ 熱転写プリンタによる現場での即時印刷
- ・ 高い視認性を持つ印刷面

めっき工程時の個体識別方法で
お困りではありませんか？

- ☑ 個体識別文字の打刻作業に時間がかかる。
- ☑ 打刻作業が難しく、危険が伴う。
- ☑ 打刻できる個体識別の文字数が限られる。
- ☑ めっき処理後に打刻文字が読みづらい。
- ☑ 目視による確認で人為的ミスが発生する。

解決はガルバタグにお任せください！

株式会社 シマブンコーポレーション

神戸事業所 ラベル販売室
〒658-0044 神戸市東灘区御影塚町3丁目3番13号
TEL. 078-842-1851
FAX. 078-843-0864
<http://www.shimabun.co.jp/galvatag/>



詳細は
ホームページへ

ガルバタグ

検索



TAKEDA

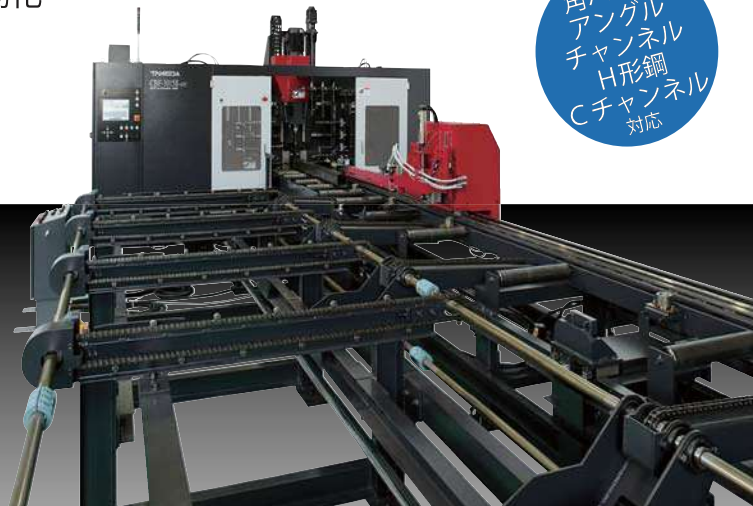
CBF-3015 II-ATC

自動測長付 孔あけ切断複合機

異径孔ワンパス加工！

A T C 装置で加工途中の工具交換を自動化

角パイプ
アングル
チャンネル
H形鋼
Cチャンネル
対応



タケダ機械株式会社

本社：〒923-1101 石川県能美市粟生町西132

TEL 0761(58)8211(代) FAX 0761(58)6861

<https://www.takeda-mc.co.jp>

鉄を守る。サビから守る。



サビのない社会を目指して—
都市インフラの長寿命化が
文明を支えます。

めっき技術だけに終わらない
最終製品としての品質を追求。

AG 安治川鉄工株式会社

AG AJIKAWA CORPORATION

JIS 認証事業場(認証番号QA0507020)

鍍金事業部

〒555-0011

大阪市西淀川区竹島四丁目11番88号

TEL：(06)6478-4465 FAX：(06)6478-0838



明治41年創業以来、溶解亜鉛鍍金のパイオニアとして
**限りある地球資源「鉄」を錆から護り、
 環境に優しいエコロジー企業を目指します。**

- **釜サイズ 単位/mm**
 本社：10,500L×2,500H×2,100W
 【推奨サイズ：8,000L×2,000H×1,900W/6t】
 堺工場：16,000L×3,600H×2,000W
 【推奨サイズ：15,000L×2,600H×1,800W/20t】

- **AZ 釜サイズ 単位/mm**
 6,500L×2,400H×1,600W
 【推奨サイズ：6,000L×1,800H×1,400W / 2.8t】



★溶解亜鉛アルミ合金めっき JISH8643 認証取得
 令和2年11月14日付認証取得(JIS 認証番号：JQ0520002)

- **P4 釜サイズ 単位/mm**
 9,500L×2,600H×2,000W
 【推奨サイズ：9,000L×1,800H×1,600W/3t】



★鍍金製品の光沢を抑え低明度・低光沢化を実現。
 都市景観機能・意匠性を向上させた鍍金後処理技術

- **グループ企業**
 横浜ガルバー株式会社<JIS 表示認証工場>
 秋田ガルバー株式会社<JIS 表示認証工場>
 百年の時空を越えて育まれた信頼と実績

田中亚鉛鍍金株式会社 本社
 〒550-0012 大阪市西淀川区御幣島5丁目1番1号
 営業部 TEL 06-6472-1234 FAX 06-6473-2354
 品質管理課 TEL 06-6742-1237 FAX 06-6472-1336
 田中亚鉛鍍金株式会社 尼崎工場
 〒661-0965 尼崎市次屋2丁目1番57号
 TEL 06-6499-4614 FAX 06-6498-4694

日建学院

開講講座一覧

- 一級・二級 建築士
- 宅地建物 取引士
- 一級・二級 建築施工管理技士
- 一級・二級 土木施工管理技士
- 一級・二級 管工事施工管理技士
- 構造計算 一級建築士
- 構造計算 実務関連
- 土地家屋 調査士
- インテリア コーディネーター
- その他各種 資格関連

おかげさまで日建学院は3部門でNo.1を獲得しました!!

- 女性が進む資格スクール No.1
- 建築のプロがおすすめる建築士講座 No.1
- 大学生が進む資格スクール No.1

日本マーケティングリサーチ機構 調査概要:2020年4月期、ブランドのイメージ調査
 日建学院は、[クオリティと学習効果の高い映像講義] [受講生を1人にしない万全のサポート体制] [各々の選べる受講スタイル] などが評価され、客観性・公平性の高い第三者の調査機関より上記の3つでNo.1の評価をいただきました。

1級建築士 合格実績

No.1

日建学院
 平成30年間の合格実績
1級建築士 90,284人
 (全受験者 158,307人)
 当学院の1級建築士
 合格者占有率
57.0%
 平成の30年間に誕生した1級建築士の
 半分以上が日建学院生です!
 2級建築士累計 145,445人
 宅建士累計 94,755人

日建学院は 全国鐵工業協会青年会
 の協会会員様の資格取得を応援させて
 いただきます。



お問い合わせ・資料請求

日建学院 <http://www.ksknet.co.jp/>

梅田校 〒530-0014 大阪市北区鶴野町1-9 梅田ゲートタワー3F
 TEL:06-6377-1055 FAX:06-6377-1066

担当: 笠鬼(かさき)まで

日建学院

事務局から一言

30周年おめでとうございます。

振り返ると、2013年からのアベノミクスを契機に鉄骨需要量も500万トン時代へ突入し、ファブ業界はその恩恵を享受してきました。しかし、2019年からの景気後退期入りに加え、昨年は新型コロナウイルス感染症が拡大。ファブ業界は仕事量の激減に喘ぎ、経営者は苦しい会社運営を強いられることになりました。

こうした時代の中で、最も心強いのがファブの仲間同士の連帯意識であり、熾烈な競争を展開するのではなく、少ない仕事を分け合うという「助け合いの精神」の存在です。

この「助け合いの精神」を生み、これまで育ててきたのが青年部だということは疑う余地のない事実です。そういう意味では、青年部の存在意義は非常に大きいものです。

今後も幾多の苦難が訪れるでしょうが、青年部が培った「助け合いの精神」と「連帯感」で乗り越えていくでしょう。この力を今後も育てていって下さい。将来を担う皆さんに期待しています。

大阪府鉄構建設業協同組合
事務局長 鈴木 順

令和2年度 青年部会役員

会長	松田 吉展
副会長／交流委員長	吉川 智寛
書記	藤尾 正太郎
書記	大西 正剛
会計	吉田 恒
技術委員長	小野木 伸浩
技術副委員長	田上 友貴
経営委員長	尾崎 正太
経営副委員長	斉藤 英生
監査	新木 謙之
顧問	横内 聡
全青会副会長	坂本 泰雄